

(別紙2)

## 令和2年度離島漁業再生支援交付金漁業集落实績報告

令和3年2月24日

### 1. 対象漁業集落の概要

都道府県名：沖縄県

市町村名：宜野湾市

島名：沖縄島

協定対象漁業集落名：宜野湾地区漁業集落

協定参加世帯数：53世帯（54人）

（うち漁業世帯数：53世帯（54人））

### 2. 協定締結の経緯

宜野湾地区漁業集落構成員の漁業形態は、ソデイカ漁業、一本釣漁業、潜水器漁業、海ぶどう養殖を主としている。近年、主要漁業であるソデイカ漁業において、サメ等による食害が頻繁に発生しており、漁業者は食害を受けたソデイカを廃棄せざる得ない状況にある。加えて、沿岸資源の減少や魚価の低迷、漁業経費の増大、漁業者の高齢化が進んでおり、このまま放置すると宜野湾市の漁業が衰退するおそれがあり、宜野湾市の水産業・漁村が失われていく懸念がある。

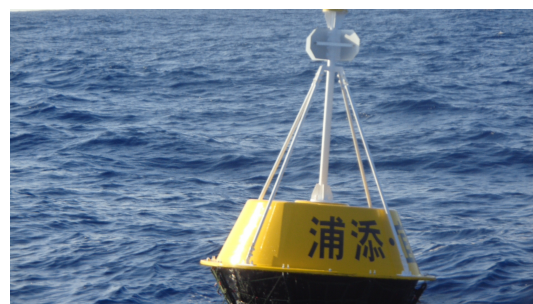
このため、漁業の基盤となる漁場の保全や利用に関する集落での話し合いを通じて、漁業の再生のための取組の決定や新技術・漁法の導入等に取り組める環境を整えるとともに、その取組の継続を下支えするために宜野湾市漁業再生支援事業補助金による漁業再生活動に取り組むこととした。

### 3. 取組の内容

#### ①漁場の生産力の向上に関する取組状況

マグロ類等の漁獲を維持し、操業の効率化を図るため、現在設置されている浮魚礁の周辺海域において好漁場を探索するために、浮魚礁を1基設置した。

浮魚礁設置



#### ②漁業の再生に関する実践的な取組状況

減少が著しい磯根資源の有効利用を図るため、シラヒゲウニについて、陸上での養殖試験を行い、新たな養殖業としての可能性について検討した。また、キンメダイを地域に普及し

地産地消を図り販路拡大につなげるため、キンメダイのサンプル提供を行った。

#### シラヒゲウニ養殖



#### 販売促進活動



#### 4. 取組の成果

交付金交付対象漁業者所得平均 5 9 7 千円

漁業集落漁業就業者数 5 4 名

浮魚礁を浦添地区漁業集落と共同で設置することにより新たにマグロ類の蛸集が図られ、操業の効率化が実現された。

シラヒゲウニの試験養殖について、浦添地区漁業集落と共同で行った。結果、2月時点でシラヒゲウニを約 9 割育成することに成功した。今後は、シラヒゲウニを出荷できるサイズまで養殖を行い出荷することで、シラヒゲウニの市場価値調査を行う。

キンメダイのサンプル提供を行い、アンケートを行った。結果、1 kg 当たりの単価 1,300 円～1,600 円で購入を検討するということだった。また、サンプル提供を行ったおりの鮮魚と取引が開始することとなった。